

かどがわ

November
2023

11

議会だより

No.176

疾走!!



- ・ 令和5年度9月補正予算 …… P2
- ・ 令和4年度 決算認定 …… P4
- ・ 一般質問 …… P8
- ・ 議員活動報告 …… P14

令和5年 第3回定例会

令和5年第3回定例会は、9月5日に開会し、22日に閉会しました。主なものは一般会計補正予算や令和4年度一般会計歳入歳出決算認定など23件を審議。

また一般質問は6日と7日の2日間に分けて議員6人が登壇、公共施設の維持管理や学校給食の値上げについてなど計12項目の質問を行った。(関連記事8～12頁)

一般会計補正予算(第5号) 全員賛成・可決

5億797万1千円を追加し総額98億3,652万9千円

歳出の主なもの(金額は万単位、千円以下は切り捨てています)

電子申請サービスのシステム改修事業	477万円
海浜公園野球場設備整備事業	926万円
しいたけ等生産体制強化事業	621万円
カンムリウミスズメプロジェクト事業	210万円
避難所備蓄品購入事業	400万円
治山林道事業	850万円
林業用施設災害復旧事業	100万円
門川町文化会館及びクリエイティブセンター体育室の天井落下防止に係る改修設計費	1,966万円
病児保育の利用促進を図る事業	27万円
海浜公園インクルーシブ遊具設置に係る測量設計費	335万円
文化財保護事業	272万円
財政調整基金への積立	3億3千万円

特別会計補正予算(全員賛成・可決)

国民健康保険事業	2億7,713万1千円を追加し	26億3,819万円
後期高齢者医療	803万3千円を追加し	5億1,772万4千円
介護保険事業	1億7,305万3千円を追加し	18億9,997万4千円

専決処分 全員賛成・承認

令和5年度門川町一般会計補正予算(第4号)

県補助金の決定を受け、より多くの町民へ物価高騰対策としての経済支援を行うため、門川元気振興券を15,000セット増刷し合計40,000セットを発行、各世帯10セットまでの購入を可能にした。主な内容として、歳入は、県支出金1,170万1千円、繰入金としてふるさと振興基金より1,170万1千円を追加、歳出は、門川元気振興券発行に係る商工費に2,340万2千円を追加。令和5年度門川町一般会計歳入歳出の予算総額は、93億2,855万8千円となった。

人事案

人権擁護委員の推薦

現委員が6月30日をもって退任されましたので、法務大臣に推薦するため、議会に意見を求めるもの。
人権擁護委員候補者
吉本照代氏 須賀崎在任
(適任とする意見を答申)

教育委員会委員の任命同意

現委員の任期が9月30日をもって満了となるので同氏を再任とし、任命について同意を求めるもの。
任命者 金丸真氏 尾末在任
(全員賛成・同意)

条例改正等

門川町企業立地促進条例の一部を改正する条例について

工場等用地取得助成金として、工場等の設置に伴い取得した土地の適正な取得価格で、町長が認定した額に2分の1を乗じた額を交付しているが沿岸部の近隣自治体と比べて交付上限額が低いことから、現在の上限額2千万円を、上限額5千万円に増額を行い、さらなる企業への支援体制の拡充をおこなうもの。
(全員賛成・可決)

門川町津々良井堰単独土地改良かんがい排水事業分担金徴収条例
(全員賛成・可決)

の制定について

農業用取水口のバルブ取り替え工事を実施するにあたり利益を受ける者から事業費に係る費用の一部を徴収するもので、その額は、該当事業に要する経費から県の補助金の額を控除した額に一定の割合を乗じた額で徴収し、事業に充てるもの。
(全員賛成・可決)

門川町が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続きに関する条例の制定について

新たな、し尿処理施設を設置することが、周辺地域の生活環境に及ぼす影響についての調査結果を公衆の縦覧に供し、利害関係を有する者に生活環境の保全上の見地からの意見書を提出する機会を設けるため、必要な事項を定めるもの。
(全員賛成・可決)

発議

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

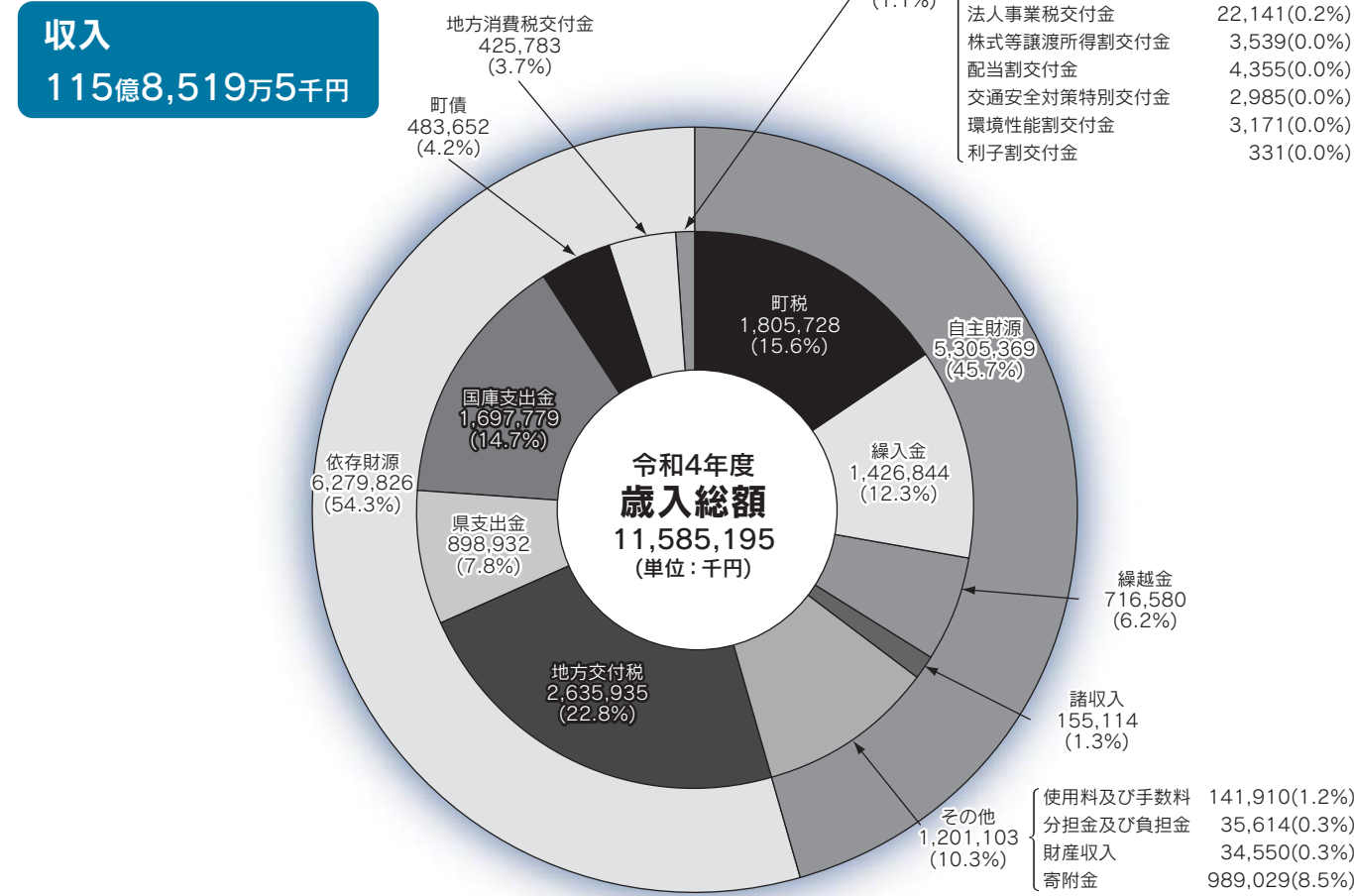
所有者不明や境界未確定森林の存在、担い手不足等により、想定以上のコストがかかっているのが現状。また、近年多発する豪雨によって起こる土砂崩れや洪水といった下流部の住民にも被害が及ぶ災

害から国民を守るためには、森林管理が必須となっている。こうした山間部における様々な課題に早急に対応し、森林整備や人材育成・担い手確保といった取り組みを今後本格化させていくには、多くの森林を抱える本町においても、今の譲与基準のままでは森林整備の不足が見込まれ、さらなる財源が必要となる。よって、森林の多い市町村が必要な森林整備をより一層推進することができるよう政府へ譲与基準を見直すことを求めるもの。
(全員賛成・可決)

地方財政の充実・強化に関する意見書

いま、少子・高齢化の進展に伴う医療、介護などの社会保障制度の整備、子育て政策、人口減少化における地域活性化対策はもとより、デジタル化、脱炭素化を目指した環境対策、物価高騰対策など、多岐にわたる、役割が地方自治体に求められるものである。令和6年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては歳入歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指す必要がある。このため、地方財政予算全体の安定確保にむけて政府に対策を求めるもの。
(全員賛成・可決)

第1図 (財源の構成)



令和4年度決算

全員賛成、認定

学校給食センター
建設事業等に
4億2700万円!!

① 財源の構成

収入については、町が自主的に収入し得る町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入からなる自主財源と、国県から配分された地方譲与税、地方交付税、国・県支出金や町債及び各種交付金等、国や県の意志決定に基づき収入される依存財源に分けると第1図(財源の構成)のように、

- ・自主財源45.7% (5,305,369千円) (前年度39.9% 4,532,417千円)
- ・依存財源54.3% (6,279,826千円) (前年度60.1% 6,838,135千円)

となった。

前年と比べると、寄附金や繰入金が増額したことにより自主財源は増額し、町債や国庫支出金の依存財源が減額したため、自主財源の占める割合が5.9ポイント増加した。

また、財源の区分として、町税、各種交付金、地方交付税等などの、用途が特定されず、どのような経費にも使用できる一般財源と、その便が特定される国庫支出金、県支出金、町債等からなる特定財源に区分して見ると、以下ようになる。

- ・一般財源 61.6% (7,138,962千円) (前年度60.4% 6,871,070千円)
- ・特定財源 38.4% (4,446,233千円) (前年度39.6% 4,499,482千円)

前年と比べると、町税や繰入金、繰越金等の増により、一般財源が267,892千円増額し、子育て世帯臨時特別給付金給付事業費補助金等の国庫支出金や繰越金の減により、特定財源が453,249千円減額した。財源区分の分析として、一般財源が多いほど行政運営の自主性が確保され、地域の実体に即応した施策を講じることが可能となる。

② 支出の状況

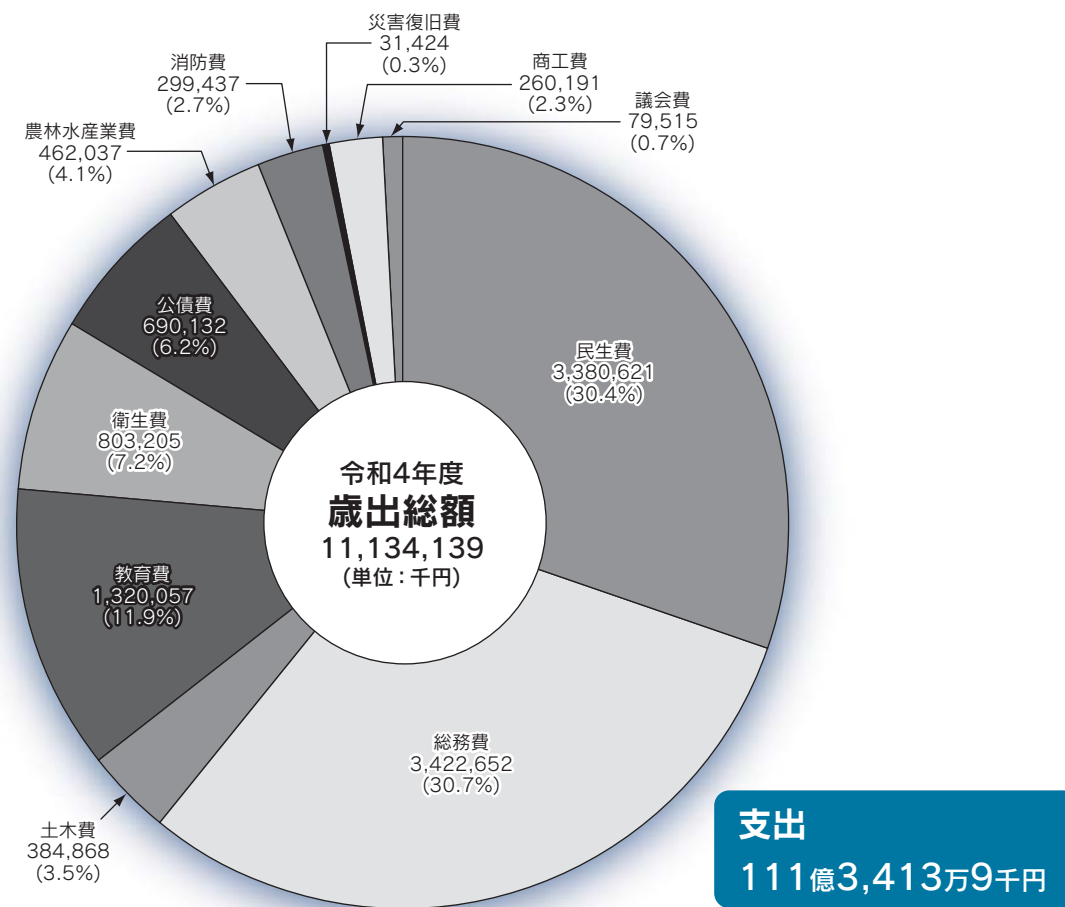
(全体の状況)

令和4年度の決算額は111億3,413万9千円で、令和3年度と比較し4.5%増の4億8,016万6千円増額した。主要因として財産管理事業(積立金)やふるさと納税事業等により総務費が2億8,171万5千円増額、共同調理場運営事業(学校給食センター整備)や学校給食センター運営事業により教育費が2億9,638万5千円増額、農林水産業費(産地生産基盤パワーアップ事業等)が1億3,602万1千円増額し、一方、子育て世帯臨時特別給付金給付事業等の減により民生費が42億3,633万5千円減額、また、休業要請等協力金事業等の減により商工費が47,288万3千円減額した。最終予算に対する執行率は95.4%(前年度91.5%)となっている。

(目的別支出状況)

歳出予算は、法令の定めるところに従い経費の支出目的に応じた款項に区分され編成されている。その支出の状況を目的別に円グラフとしたものが第2図である。

第2図 目的別歳出決算額の状況



令和4年度決算 認定委員会審査

産業建設文教常任委員会

《 建設課 》

- 問** 公園の遊具点検の頻度は。また橋梁点検は。
答 遊具は、年1回実施、橋梁は5年に1度の周期で実施している。



▲改良工事完成後の曾根米ノ山線道路

《 地域振興課 》

- 問** 地域おこし協力隊の任期後は。
答 協力隊と関係者が集まる月1回の定例会の中で、相談をしながら定住支援をしている。

《 農林水産課 》

- 問** 優良繁殖雌牛導入事業の成果は。
答 系統の良い母牛を購入するための補助。成果については、牛の値段が下がってきており、一概には言えないが、品評会に出すことから品質は向上していると感じている。



▲城屋敷ハウス施設の完成調査

《 教育課・学校給食センター 》

- 問** 給食センターの調理能力は、最大で1日何食か。
答 最大に1日1700食。
問 AEDのリースは何台。
答 各学校の屋内に4台、屋外に5台設置。



▲改修された海浜公園野球場ラバーフェンス

《 環境水道課 》

- 問** 合併浄化槽が普及していくと、水質の結果は、良くなっているのか。
答 そうい結論になる。生活排水処理率は4年度時点で73.07%。
問 耐震管の布設管工事、現在何%くらい終わっているか。
答 耐震適合率として、31.5%で昨年度からすると4.1%上昇している。



▲小松石塔郡の積み直し状況の確認調査

(記:田中)

総務財政厚生常任委員会

《 総務課 》

- 問** 若者の投票行動を向上させるには。
答 主権者教育を行い、商業施設での期日前投票を調査研究をする。



▲門川中学校選挙主権者教育風景

- 問** 消火栓ボックスの点検は。
答 年一回点検し、不備は対応している。



▲消火栓ボックスの調査

- 問** 非常時備蓄品の消費期限切れの対応は。
答 期限切れ前に、防災訓練で活用し、乳幼児用ミルクは保育園、幼稚園で使用。



▲ミルク等非常用備蓄品

《 健康長寿課 》

- 問** ガン検診の受診率が下がっているが。
答 啓発ポスターや町広報誌に定期的に掲載したり、ガン検診の大切さを知ってもらう出前講座を展開している。

- 問** 食育事業参加者や食生活改善事業参加者が倍増しているが。
答 健診会場や産業祭での試食の配布やシニアカフェ、チャレンジ塾等の開催ができ、参加増となった。



▲シニアカフェの様子

《 財政課 》

- 問** 新型コロナウイルス対策地方税減収地方特例交付金の減額は。
答 設備投資した事業所の固定資産税が減免されることによる町の減収に対して国から補填される分であるから。

(記:魚永)



うおなが たかつぐ
魚永 崇貢 議員

学校体育館エコエアコン 設置について

教育長 調査研究を進めていく

軽急救急車導入について
軽急救急車は、高規格救急車に比べて、狭い道での走行ができるのが特徴である。本町に於いては、沿岸部、山間部での活用に適していると考えられるが、見解は。

町長
離島や山間地域で導入されている事例があると伺っているが、山間部などで救急車が進入出来ない場所への対応については、ドクターヘリ、防災ヘリを動員して対応している。本町に於いては日向消防署に要望することは無い。

高規格救急車が、玄関先まで進入出来ない場合は、ストレッチャーを使用して、マンパワーで救急車まで運んでいる。急な登り坂や階段、路面凍結、搬送時の揺れで傷病者の容体が悪化するリスクがあり、軽急救急車の導入は、救命率向上に効果があるのでは。

総務課長
現在、日向消防署では、高規格救急車で安全・迅速に救急業務を行って頂いている。今後、救急業務で必要性が生じたら、日向消防署と協議して参りたい。

町長
「救急車が家の前を通れないので、道を広げて欲しい。」との声が上がっており、ひとり親世帯や一人暮らしの高齢者の方々は、不安を抱えたまま生活している。救急車が家の前まで進入出来ないのは何割か。

総務課長
全世帯の何割かは、把握していないが、今後調査研究する。



▲高規格救急車

学校体育館エコエアコン設置について

体育館は雨や暑い日の体育の授業、全体集会に使われる他、夜間、週末、長期休み中の地域行事に使用されており、エアコン設置は必要だが本町の見解は。

教育長
体育館に於ける熱中症対策として授業を冷房のある教室や特殊教

室で行っており、大型扇風機を活用するなどの対策を行っている。エアコン設置は学校施設環境改善交付金という国庫補助がありますが、建物に断熱性がなく、対象外である。建築から49年が経過している門川、草川小学校の体育館の老朽化が進んでいるため、空調設備を視野に入れた建て替えについて調査研究を行なう。

教育課長
2016年の熊本地震では、寒い中、車のエアコンで暖を取ったためエコノミー症候群を引き起こし、2018年の西日本豪雨では、夏の暑さで30度を超える避難所生活を余儀なくされた。エアコン設置した上で、の対策が急務であるが、見解は。

教育課長
国とか県、或いは他の



▲草川小学校体育館

市町村の動向を注視しながら、調査研究を進めていく



▲門川小学校体育館

まつもと りょういち
松本 良一 議員

公共施設の維持管理は

町長 状況を把握し、計画的に改修する

町長
2011年の東日本大震災を受け、本町でも町内一斉避難訓練を実施しているが近年訓練参加者の減少がみられる。過去3年間の避難総数の推移は。

町長
令和2年度及び3年度はコロナ感染拡大のため避難訓練を中止したが令和元年度が3454人、令和4年度が1349人そして令和5年度が2671人となっている。

町長
住民の防災意識を高めるため、防災講演会や講習会を開催したかどうか。

町長
本年2月に「防災を考える日」として、町内一斉避難訓練、防災士スキルアップ研修会、防災講演会を実施した。



▲門川勤労者体育センター

総務課長
防災士を集めてのスキルアップ研修会も大事と思うが各地区に出向き、地区住民に防災訓練の大事さを訴えたいかどうか。

総務課長
各地区の防災士と相談しながら、各地区で取り組んでいきたい。

公共施設(建物)の維持管理について

町長
「門川町公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設全体の状況を把握し、計画的に改修を行っている。今後、人口の減少を考慮し、約40年間で現在の公共施設総量の30%縮減を目標としている。

町長
現在、勤労者体育館では雨漏りがしている状態で、体育館内の雨漏れ箇所はバケツを置いて利用している。早急な対策が必要では。

町長
現在、町民の皆様と直接意見交換を行う「町長と町民の意見交換の日」を実施している。町政報告会は地域課題を住民の皆さんと共有する有効な手段であると認識している。地区の皆さんと本音で話し合える座談会とか意見交換会等実施の方向で検討していきたい。

教育課長
勤労者体育館は建設から36年が経過し、近年は補修が追いつかない状況である。屋根等の大規模改修には3200万円程度必要と想定しており他の公共施設との関係もあり、財政当局と相談し出来るだけ早く対応していきたい。

町長
現在、町民の皆様と直接意見交換を行う「町長と町民の意見交換の日」を実施している。

町長
町政報告会は地域課題を住民の皆さんと共有する有効な手段であると認識している。地区の皆さんと本音で話し合える座談会とか意見交換会等実施の方向で検討していきたい。





くろだ こうすけ
黒田 耕右 議員

給食費無償化へ向けての 取り組みは

町長 難しいと考える

学校給食費無償化に向けての取り組みについて

町長 現在482の自治体で実現している。門川町でも取り組めないか。

町長 今後多額の財源が継続的に必要になるため難しいと考える。

町長 町本に財源的に不可能なのか疑問が残る。自治体の努力次第なので。

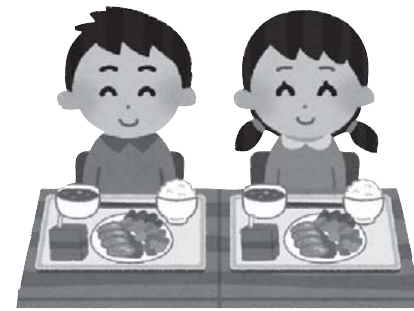
教育課長 現在無償化をしているのは県内7町村となっている。そこについては調べている。

町長 現実的な負担を減らすことが安心して子育てが出来る施策ではないのか。

副町長 学校施設の建替え等もあり財源上厳しい。

町長 町お金のかかる新生を無償にするなど、試験的に一歩でもいから無償化に向けて歩み出す必要があるのでは。

町長 町としては、きめ細やかな子育て支援に努めていると思っっている。その点は理解してほしい。



学校給食費の値上げ検討について

町長 国物価高騰問題等で財源不足分約800万円を交付金や自主財源で補っているの事だが、交付金が出なかつた場合でも値上げはせずに現状維持はできないか。

教育課長 新型コロナウイルスが5類に移行した事により交付金が見込めなため、給食費の増額が不可欠であると考えている。

町長 国物価高騰だから値上げをするというのは安直ではないか。町民の負担を増やさぬよう努力するのが町政なのでは。

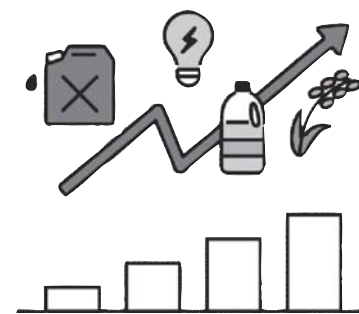
教育課長 この2年間は交付金等を活用して値上げをせずに保護者負担の軽減を図ってきたと思っ

町長 国検討している値上げ額は、1年で考えると1ヶ月分ほどの値上げになり非常に大きな値上げだと思っ。値上げにかかる予算約800万円はどうかならないのか。

教育課長 教育課に関わる予算の中でいくと800万円を捻出するのは厳しい状況。

町長 800万円という金額はなんとかなる金額なのではと思っ。なんとか値上げをしない方向で頑張っしてほしい。

教育課長 安全で安心、そして美味しい給食を提供するために様々な努力をしている。来年度、国が交付金等を補助してくれる状況になつたら、積極的に活用していきたいと思っっている。



向ヶ浜の砂浜浸食について

いわきり よしき
岩切 義樹 議員

町長 関係機関と連携して安全対策に努める

町長 向ヶ浜の砂浜が侵食され、堤防沿いの波消しブロックが3メートルほど沈下している。また五十鈴川河口も大雨のたびに形状が変化、台風による高波が河口奥まで直接届くようになり、南町や中須地区への高潮や高波の被害が想定される。砂浜浸食について、原因の調査、究明はできているか。また防災を含め、その対策はどのような状況か。

町長 砂浜浸食について、原因の調査、究明は行っていない。過去に地元住民の方から意見があり、管理者である宮崎県北部港湾事務所へ繋いだ経緯がある。

町長 防災の状況については、これまで高潮による被害があり、防潮堤の復旧工事や消波ブロックの設置など高潮に対して防災対策が講じられてきた。消波ブロックの沈下は管理者の東臼杵



▲砂浜が侵食された向ヶ浜

農林振興局が経過観察を行っっている。五十鈴川河口の形状について、砂州の状況は大雨等の気象条件により、変化している。

町長 砂の堆積が大きくなると、河口部の閉塞による被害が懸念されるので、今後も変化を注視しながら、日向土木事務所など関係機関と連携を取り、状況に応じて対応していく。

町長 国小中学校の遠足など町民の憩いの場として利用されてきた向ヶ浜は国道に近く利便性も良く、都市公園や文化会館も近隣にあり整備や文化施設との連携を行うことで、乙島や遠見半島にならぶ観光地として整備する計画はあるのか。あればその内容について教えてほしい。



▲現在の五十鈴川河口

町長 現在の向ヶ浜は、自然そのままの美しい砂浜があり、また、隣接する松林は、ウォーキングを楽しむ人たちに程よい木陰を提供し、健康増進と癒しの場となっている。そのような中、今年観光協会が釣りイベントを実施、町内外から多くの参加があつた。

町長 これまで公衆トイレを整備し、また、文化会館周辺の駐車場も利用されている。今後、新たに施設等を整備する計画は今のところないが、この風光明媚な素晴らしい景観を、多くの方に自然のまま楽しんでいただけるよう、観光協会等の関係機関と連携しながら、情報発信に努めていく。



かんざき ちかこ
神崎 千香子 議員

生ごみのたい肥化に支援を

〔町長〕 国・県の補助金の動向を注視

国ごみの減量化、資源化を進めるために、生ごみをたい肥化するためのコンポストなどに補助する考えは。

町長 県内17町村のうち、3町村が補助制度、または無料貸し出しを行っており、以前実施していたが、廃止したところが3町村ある。

廃止の理由は、申請件数の減少により、事業効果が薄れてきたことによる。また国や県の補助金がなく、単費補助だった事から、補助金見直し



生ごみをたい肥化するコンポスト 門川町の生ごみは可燃ごみの約30%

に伴い補助廃止に至ったとの事。以上からの事から、本町も今後、国・県による補助金の動向を注視しながら、調査を進めていく。また、昨年度策定した環境基本計画のアンケートでは、「ごみを正しく分別し、リサイクルを心がけている」は、94.4%、「生ごみの水切りをきちんと実施」は、83.3%だった。町民のごみ減量化・資源化の意識の高さの表れだと考える。

国ごみの資源化に対する町民の意識は高いのに、補助金頼みはほかなものか。環境基本計画には、「ごみが増えたと余計な処理費用が発生する。ごみの資源化に取り組み、生ごみ廃棄の際の水切りやたい肥化の実施」とあるが。

環境水道課長

生ごみのたい肥化については、炭酸ガスの縮減、焼却灰の減量化、可燃ごみの減量になり広域連合への本町の負担金の減額の可能性など有益と考える。

コンポスト補助や無償貸出しなどの施策の前に周知広報啓発を図りたい。

国広報周知は、いつからどのような方法でするのが。

環境水道課長

早急に広報周知を図りたい。方法としては、町広報、ホームページ、

できればSNS等の手段を通じて生ごみのたい肥資源化などの効果について、周知していきたい。

国現在生ごみとして処分している学校給食の野菜くずや残滓については日向市に無料で、たい肥化してくれる会社がある。

ふるやの森について

国ふるやの森の現状と管理条例は。

町長

耳川広域森林組合が、町との委託契約に基づき、森林施業を行っている。条例については、現状のままだが、今後の自然環境や社会情勢の変化に伴い、必要に応じ条例の見直しを行ってきたい。

また今後も森林の有する公益的機能を十分に発揮するよう努めていく。



▲山桜

社がある。取り組んではどうか。

教育課長

実施可能かどうかも含めて研究していきたい。

県庁において要望活動を実施しました

令和5年7月12日に、副議長が、町長と担当建設課とともに県土木整備部長宛に国県道や二級河川の整備等について要望活動をいたしました。

要望事項は次のとおり。

- 1 県道 八重原延岡線(三ヶ瀬地区)の改良整備促進
- 2 国道388号(庭谷～黒木間)の改良整備促進
- 3 国道388号(五十鈴～小園)の早期整備
- 4 二級河川五十鈴川の河川改修及び防災対策



議会改革特別委員会を設置!!

第3回定例会において、議会が直面する諸課題の解決に取り組み、調査研究を行う目的で「議会改革特別委員会」を設置しました。

低下する投票率問題、開かれた議会を目指しての議会放送、DXへ向けての各デジタル化、などなど取り組むべき課題は山積みですが、議会と町民の皆様との距離を近くする為、そして門川町をより良くする為、議員一丸となり町政発展のため頑張っていきます。



議員活動報告

宮崎県町村議会議員大会が開催されました

川南町：サンA川南文化ホール

10月12日(木)に県内の町村議会議員が参集し、次のような大会宣言をしました。

「多くの町村においては、人口減少社会の到来や若者の都市部への流出により、過疎化・高齢化が歯止めなく進んでおり、基幹産業である農林水産業が担い手不足により衰退するなど、地域



活力が減退している。このような状況を打開し、人口減少の克服と地方創生を実現するためには、町村の自治能力を高め、都市と農山漁村が『共生』しうる社会を協力に進めなければならない。我々地方議会人は、今後とも清新で活発な議会活動に努めるとともに行政改革を加速し、住民の付託に応えんことを誓うものである。以上宣言する。」

大会と同時に行われた議員研修会に参加しました。

世界が絶賛する日本のスゴイところ

講師 ルース・マリー・ジャーマン

◎外国人から見る日本の魅力を理解し、自信を持ち、ビジネスチャンスにしましょう。

- ・日本の現状として、人口が減少しているが、外国人は299万人おり、底支えとなっている。
- ・国際層からの「日本人が誇れること」を理解しよう。
- ・日本人の英語発音は、きれいでわかりやすい。
- ・外国人の誰もがパーフェクトな英語を期待していない。
- ・日本人はカッコいいと世界中の人が思っている。



九州中央自動車の早期完成、事業化を！

去る8月1日に延岡市の野口遵記念館におきまして九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会の総会・決起大会が開催されました。当日は宮崎、熊本、大分3県の国会議員や県議、沿線の市町村議員など関係者約400人が出席。「平底ー蔵田間」の計画段階評価の早期着手、「国道218号蘇陽五ヶ瀬道路、五ヶ瀬高千穂道路、高千穂雲海橋道路」など事業中区間の早期完成、未事業化区間の早期事業化の要望などを盛り込んだ決議案を全会一致で採択しました。



DXの推進で地方議会をアップデート！

9月28日に東臼杵郡町村議会議員研修会が開催され、前日南市長で現在(株) 飼肥社中代表取締役、(一社) Data for Social Transformation 常務理事を務める崎田恭平氏を講師に「地方議会をアップデート～地方議員はまちづくりの要」という演題で講演が行われました。崎田氏は日南市長としての経験やこれまでの実績をもとに、自治体のコンセプトの作り方、地方議会DXのすすめ、証拠に基づく政策立案、DXの最新事例などをわかりやすく解説。講演にて学んだ事はしっかり今後の私たちの活動に役立てます。



門川町議会のラジオ中継のご案内

門川町議会では12月定例会の一般質問の状況をFMひゅうが76.7にてラジオ生中継いたします。今回のラジオ中継生放送は試験放送で、再放送はございません。

◎ ラジオ生中継日時 令和5年12月6日 午前10時00から終了まで

7日 午前10時00から終了まで

◎ ラジオ中継のチャンネル ・FMひゅうが76.7 ・スマホアプリ FMぶらぶら
・ケーブルメディアワイワイ767(音声のみ聴けます)

◎ 放送内容 一般質問

※アンケートのご協力をお願いいたします。別紙アンケート用紙あるいはQRコードからでもアンケートの回答可。(回答者アドレスおよび個人情報取得いたしません。回答者のアドレスは無記名となります。)



問い合わせ先 門川町議会事務局

0982-66-1158(直通電話)

QRコードでのアンケート締切

令和6年2月28日(水)



「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

次回12月定例会の予定

12/5(火)	5日(火)	(開会)議案の上程	左記の日程で開催を予定しています。日程は変更になる場合がありますので、町のホームページ等でご確認ください。
↓	6・7日	一般質問	
12/12(火)	12日(火)	議案の採決(閉会)	

編集後記

秋の気配を色濃く感じられる今日この頃、おかわりなくお越しの事と存じます。

門川町議会では町民の皆様の議会に対するご要望等、町民の皆さまと共に解決に導ける試みとして議会改革特別委員会を設置いたしました。

色々な意見等が有りましたら、門川町議会事務局までご一報ください。

■発行者/門川町議会議長 森 誠一

■編集/議会広報編集特別委員会

〒889-0696 宮崎県東臼杵郡門川町平城東1番1号 TEL(0982)63-1140

■議会広報編集特別委員会/委員長 出口 希俊 副委員長 岩切 義樹
委員 黒田 耕右 魚永 崇貢 田中 豊和

■印刷/有限会社 第一印刷